

『将来の風景?』

～關於生態災難的幾點思考～

私たちの空が黄色くこはくになって、
井戸が干上がるとき、
私たちは、どうすればいいのだろう?

私たちの川の水が飲めなくなって、
田畑が壞疽を生じるとき、
私たちは、どうすればいいのだろう?

多くの人が生活のための職を求める一方、一握りの企業が
ほとんどのものをコントロールしてしまうとき、
私たちは、どうすればいいのだろう?

その変化について熟考する頃には、
私たちはこの世に存在するのだろうか?

ミン： （咳）この詩は憂鬱すぎます。

玲亜： （少しうなずいて）確かそうですね。ほとんどの人々は短期的な利益に焦点を当て、
長期的な結果を忘れている。これは一般的な人間の認知バイアスです。

悟： （肩をすくめ、そして一杯のワインを飲みながら）多くの可能な先物があります。
この詩は、そのうちの一つだけを描写している。

ティム： 「文明」は一時的な現象にすぎないことを覚えておくのは良いことです。地球は
私たちのどれよりもずっと長くなるでしょう。

T Newfields (和訳： 槌谷メリッサ)

開始：2001年 名古屋市 ♪ 完成：2019年 横浜市

